

2009年(平成21年)12月12日(土)
山陽新聞

水環境の専門家養成を

岡山大学で 2年間の成果報告
国際シンポジウム



水環境の専門家養成の成果を報告した
国際シンポジウム

水環境の専門家養成
を目指した岡山大学の現
代G.P.(現代的教育ニ
ーズ取組支援プログラ
ム)について最終報告
する国際シンポジウ

ムが11日、岡山市北区
津島中の同大で関係
者約120人が参加し
て開かれ、「持続性の
ある環境人材の育成
と国際交流のあり方」
をテーマに意見交換し
た。

同事業は多角的視点
から海、河川、湖沼の
環境改善に取り組む人
材を育てようと200
8年から2年間、同大
環境理工学部、農学部
の学生を対象に実施。
児島湖の水質調査や学
内施設での水循環シミ
ュレーション、タイ・
カセサート大での講義
が行われた。

パネルディスカッシ
ョンで、責任者の沖陽
子環境理工学部教授が

「学生は環境問題を自
分で考え、持続的にか
かわることの重要性
を知った」と事業の成
果を総括。神崎浩農学
部長は「環境分野でリ
ーダーシップを発揮す
る学生が出てほしい」
と期待し、カセサート
大のソンバット・チャ
イナウォン理事は「共
同研究など大学間協
力を続けたい」と話し
た。

児島湖の生物観察や
タイのマンガロープ林
見学について、学生の
発表もあった。

(黒崎平雄)